

沖縄県議会議員 照屋 守之

会派 * 沖縄・自民党

令和2年3月特別号

沖縄県議会

〒900-0021 那覇市泉崎1-2-3 6階
電話・098-866-2754 FAX:098-866-2773

詳しくは
会派ホームページへ



代表質問 (令和2年2月20日)

玉城知事が、県知事に就任され、1年4ヶ月が経過し今、その評価とオール沖縄県政の真価が問われている。オール沖縄県政に、県民は普天間・辺野古問題の解決を期待したものの法律に基づく国、県の行政手続きによって、沖縄県が許可し、辺野古の工事は進み、玉城知事も問題解決の道筋を示さず工事は更に進んでいる。このことは、玉城知事の公約に反するものだと思う。玉城知事は、明るく人懐こさ、キャラクターは県民受けすると思う。しかし、県政の課題、解決・緊急時の決断、言動に最高責任者としてのリーダーシップに不信感がある。

万国津梁会議の契約前夜の玉城知事と受諾者との会食問題は、県民に不信感を与え、その癒着問題は、今、2、400万円の公金問題となっている。

尖閣諸島周辺で地元の漁船が中国公船に追尾された件では、玉城知事は『中国公船がパトロールしている』等の中国寄りの発言が、県民の生活・財産を守る立場の県知事とは思えないものであった。後に発言を撤回しているが、中国公船は尖閣諸島周辺を航海あるいは領域侵犯を繰り返しており撤回ですむことではない。



令和元年6月定例議会 一般質問



令和元年11月定例議会 一般質問

沖縄県は、二年後に復帰五〇周年の大きな節目を迎える。沖縄県の新たな展開をつくり出すための政策をより充実させたい。それに向けて

- 玉城知事の評価について
- 玉城知事の政治姿勢について
- 農林水産業の振興について
- 県警関係について

を取り上げ、沖縄・自民党の対応を示しながら、沖縄県の課題解決に向けて議論を行った。特に、玉城知事の評価については、県政運営のトップリーダーである県知事としての決断・実行なしでは、県民の為の政策実現されない事から、豚熱対策のワクチン接種の決断と実行が、遅い事を取り上げ、養豚農家や県民の不安解消に繋がっていないことを指摘した。
首里城火災については、直ぐに対策本部を立ち上げて防火・防災対策を取らなかつた県知事の対応を確認しつつ、引き続き県の管理責任を具体的に示すよう求めた。以下、普天間・辺野古問題、北部基幹病院設置や、県と国との信頼回復等について、県民の立場から、議論し指摘した。
これからも県民の期待に応え沖縄県の課題解決を目指す。

令和2年2月定例議会



■質問 又吉 清義
首里城火災、豚熱の発生、中国での新型コロナウイルスの発生による県内観光への影響等、県は危機的状況に直面している。玉城県政は、万全な対策と対応が出来たか？又、一刻も早い普天間の危険性除去の為に取り組むべき事が、今では議論が噛み合わない。知事の真意を問う。



■質問 西銘 啓史郎
危機管理体制(首里城火災・豚熱・新型コロナウイルス等)について追及すると同時に、観光立県としての課題解決を質し、実現に向けて提言を行う！



■質問 花城 大輔
首里城火災、豚熱、新型コロナウイルス等々々起る異常事態に対して、県の危機管理はどうか？この他にも外部団体の人事問題やMICEの和資金サンゴの採掘許可申請に対する姿勢など行政としての機能を有しているとは思えない。正常に機能するよう指摘。



■質問 大浜 一郎
次期沖振計へ向けた正念場の年。沖縄関係予算はこれでいいのか？離島振興は次期振計の重要な柱！その取り組みを問う。



■質問 山川 典二
我が国初の沖縄県警国境離島警備隊創設の目的と内容、沖縄県の地震、津波など防災対策。大幅に遅れている消防防災ヘリコプター導入事業。那覇空港第2滑走路の活用策。薬学部設置の可能性などについて質問する。



■質問 中川 京貴
沖縄県の最大の振興策は、教育と人材育成、観光振興である。県内社会資本整備や次期沖振計策定について問う。



■質問 座波 一
首里城火災の責任問題、万国津梁会議業務に関する疑惑問題と職員倫理のあり方を追及し、MICE施設整備事業で派生した和解金問題を追及する。



■質問 仲田 弘毅
沖縄のシンボルである首里城の復元再建のあり方と予算に関する国の調整をどうするか問う。また国内外に向けて的確な対応策が求められている「新型コロナウイルス」や「豚熱」等の対応策について、医療行政と農林水産行政の姿勢を問いたい。

